

2024 年度 大学院社会学研究科 修士課程
【秋期一般選考】入学試験

論文試験問題

2023 年 8 月実施

【 注 意 事 項 】

1. 「解答はじめ」というまで開いてはいけない。試験時間：10 時 00 分～13 時 00 分。
2. 問題は 6 枚、解答用紙は 6 枚（1 題につき 3 枚で 1 組）である。下書用紙 1 枚は自由に使ってよい。
3. 解答は、日本語または英語のどちらかで書くこと
4. 解答用紙は残らず回収するので、記入していない用紙を含めすべての用紙に受験番号、問題番号および問題名を正確に記入すること。
5. 解答用紙が不足する場合は、監督員に申し出ること。
6. 次のページの間 1～問 18 の問題のうちから主論文 1 題・副論文 1 題を選び、それぞれ別々の解答用紙（1 題につき 3 枚で 1 組）に解答を記入しなさい。
 - ①解答にあたっては、解答用紙上段に主論文・副論文の別を示す欄があるので、該当する方を○でかこみなさい。
 - ②主論文は自分が所属することを志願する研究分野（志願票に記入した研究分野）から問題を選択しなさい。研究分野とは【社会学研究】【共生社会研究】【歴史社会文化研究】【超域社会研究】までの 4 つの分野をさす。
 - ③副論文については、研究分野を問わず、どの問題からでも選択できる。ただし、主論文として選択した問と同一の□で囲まれた別の問から選択することはできない。そうした場合は採点対象外となる。例えば主論文で問 1－(1)を選んだ場合は、副論文で問 1－(2)を選ぶことはできない。
 - ④解答用紙上段に選択した問題番号と問題名を明記すること。

《記入例》 □問 1－(2) 社会学研究 I（社会理論）を選択した場合

問題番号	問題名
問 1－(2)	社会学研究 I

【社会学研究】

1. 社会学研究 I (社会学理論)

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問1 - (1)

「文化資本」、「社会関係資本」、「人的資本」のそれぞれについて、その共通点と相違点ができるように説明しなさい。また説明の際には、それぞれの概念が適用される具体的な事例についても触れなさい。

問1 - (2)

「インターセクショナルリティ」とは何か。その思想的背景をふまえて、社会理論としての有用性と限界について論じなさい。

2. 社会学研究 II (社会学方法論)

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問2 - (1)

国家の枠組みを超えたグローバルな社会現象をどのように分析できるのか。事例をもとに、問いを立て、答えを導くための研究手法を述べなさい。手法は量的、質的どちらでも（もしくは両方でも）構わないが、その手法を選んだ理由と、何をどのように、どこまで明らかにすることができるのかを説明しなさい。

問2 - (2)

ライフ・ヒストリー (LH) やライフ・ストーリー (LS) は、それをを用いる論者によって視点や用法が異なる。あなたの研究テーマに関連して、どのように LH や LS を用いたアプローチができるのか。①あなたの知る LH や LS とはどのような手法であるのかを説明した上で、②あなたのアプローチを具体的に示し、③その有効性と課題について論じなさい。

3. 社会学研究 III (社会学各論)

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問3 - (1)

社会構築主義 (social constructionism) とは何か。これを説明した上で、社会認識および社会運動におけるその利点と限界について論じなさい。

問3 - (2)

多様化する移民の現象は、社会の不平等を反映するだけでなく、それを新たに作り出すものとしても捉えられている。自分自身の研究課題と関連させたうえで、越境的な人の移動と社会的不平等の関連について具体的に論じなさい。

【共生社会研究】

4. 共生社会研究 I (教育と社会)

問4

任意の時代・社会を選び、具体的な事例をあげつつ、「世代の葛藤」という視点から、教育が直面する諸課題について論じなさい。その際に一つ以上の学説に言及すること。

5. 共生社会研究 II (人間形成／文化精神医学)

問5

コロナ禍を超えて、対面とヴァーチャルのハイブリッド化・ハイフレックス化が常態になりつつある現在の社会において、人間の心や身体に起きている、もしくは起きうるであろう変化を、具体的にあげ、人間形成／文化精神医学の観点から理論的に考察しなさい。またその変化について学術的研究を行う場合の研究方法について複数提示しなさい。

6. 共生社会研究 III (スポーツ社会学)

問6

スポーツの高度化と大衆化について、先行研究を踏まえ、論じなさい。

7. 共生社会研究 IV (社会政策)

次の3問から1問を選んで答えなさい。

問7－(1)

いわゆる「伴走型支援」には、従来から行われてきた支援とどのような違いがあるか。「伴走型支援」が近年注目されるようになった理由を述べるとともに、その意義について論じなさい。

問7－(2)

現在の日本において、解雇規制と新卒一括採用が雇用の基盤として強固に存在し続けているのはなぜか。既存研究に言及しながら論じなさい。

問7－(3)

日本において「都市再生」が必要とされる背景について論じなさい。さらに、日本における「都市再生」に関連する任意の政策を2つ以上とりあげ、それぞれの①政策の特徴、②政策の効果、③政策が抱える課題とその原因について比較しつつ論じなさい。

【歴史社会文化研究】

8. 歴史社会文化研究Ⅰ（日本史）

次の4問から1問を選んで答えなさい。

問8－（1）

日本近世の民衆思想の特質について、具体的な研究や事例をあげて論じなさい。

問8－（2）

日本近世における都市と村落との関係の歴史的特質について、具体例に即して論じなさい。

問8－（3）

日本の地域社会における文明開化の特質とその歴史的意義について、具体的な研究や事例をあげつつ論じなさい。

問8－（4）

占領期の日本（1945～1952年）における制度改革の歴史的意義について、戦前・戦中期との連続・断絶、連合国側の占領政策とその変容、日本側の対応といった論点に適宜言及しつつ、論じなさい。

9. 歴史社会文化研究Ⅱ（アジア史）

問9

近代における地域指導層と地域社会に関する研究史上の到達点と課題について、アジア（ただし日本を除く）の任意の地域、時期に即して論じなさい。なお、ここでいう近代とは19世紀中葉から1945年までを指す。

10. 歴史社会文化研究Ⅲ（アメリカ史）

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問10－（1）

アメリカ合衆国史における社会統合と分断というテーマで、自由に論じなさい。その際、分析の枠組みとなる具体的な先行研究や事例をあげつつ論じること。

問10－（2）

現代歴史学において越境論的転回(transnational turn)とはどのような研究史上の潮流であるかを述べなさい。また、具体的な研究事例をとりあげて、研究史上の意義を中心に論じなさい。

11. 歴史社会文化研究Ⅳ（ヨーロッパ史）

問11

エリック・ホブズボーム（Eric Hobsbawm）の業績の歴史学上の意義、位置づけ、ならびに今日的意味について、その具体的な著作に言及しながら論じなさい。

12. 歴史社会文化研究 V (哲学・社会思想史)

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問 12- (1)

「ある種類の事実 A が別の種類の事実 B を基礎づける」という主張の具体例を取り上げ、その賛否について、対立する複数の考え方に触れながら、何らかの哲学や倫理学の議論の蓄積を踏まえつつ論じなさい。

問 12- (2)

社会のあり方を「自然」や「人間本性」といった概念と関連付けて論じる場合、どのような議論がなされてきたか、特定の思想家を取り上げてその内容、意義、問題点などを具体的に説明しなさい。

13. 歴史社会文化研究 VI (文芸思想)

問 13

小説という文学様式と社会規範との関係について、作品を取り上げながら、通時的・共時的に論じなさい。

14. 歴史社会文化研究 VII (言語学)

問 14

言語学者ソシュール(生没年 1857~1913 年)が提起した用語であるシーニュ、シニフィアン、シニフィエ、パロール、ランゲージ、ラングのうち、少なくとも3つを用い、それらの相関について、具体的な事例をあてはめつつ述べなさい。

【超域社会研究】

15. 超域社会研究Ⅰ（社会心理学）

次の3問から1問を選んで答えなさい。

問 15－（1）

近年の研究において環境配慮・保護行動には誇りの感情と罪悪感が特に関わっていることが示されている。先行研究を例にあげながら、どのようなときにそれぞれの感情が行動と関連するのか、またどちらの感情の方が安定的に行動を予測すると考えられているのかを述べなさい。

問 15－（2）

文化心理学の研究における生態学的誤謬（ecological fallacy）の問題について、具体的な実証研究例をあげながら論じなさい。さらに、その問題を踏まえた上で文化比較研究を行うためにはどうすればいいか、あなたの考えを述べなさい。

問 15－（3）

次の（A）、（B）について、それぞれ説明しなさい。

- （A）敵対的メディア認知
- （B）尺度の水準

16. 超域社会研究Ⅱ（社会／文化人類学）

問 16

次の（1）、（2）の両方に答えなさい。

（1）次の（A）、（B）について、それぞれ簡潔に解説しなさい。

- （A）ポトラッチ
- （B）暗黙知

（2）人間と人間以外の存在の関係について、人類学的に論じなさい。

17. 超域社会研究Ⅲ（政治学）

次の3問から1問を選んで答えなさい。

問 17－（1）

グローバル化の進展とともに、税、社会保障、雇用、市場規制などの分野で「底辺への競争」が引き起こされると論じられることがある。任意の国の事例をあげ、関連する理論・学説に言及しつつ、この議論の是非について論じなさい。

問 17－（2）

国際平和を実現するためにはどのようなアプローチが有用か、理論や先行研究をあげながら自身の研究テーマと関連させて論じなさい。

問 17－（3）

Why is political communication important for democracy?

18. 超域社会研究 IV (環境と社会)

次の2問から1問を選んで答えなさい。

問 18－ (1)

参加型の開発および参加型の環境保全が求められるようになった理由を説明し、地理学ないし地域研究の観点からこうした参加型方式の実践上の課題について具体的に論じなさい。

問 18－ (2)

「共有地の悲劇」(Tragedy of the Commons)として知られるギャレット・ハーディン(Garrett Hardin)が提唱した環境破壊モデルについて説明し、その反例となる事例について具体的に論じなさい。